

(別紙4(2))

事業所名 大東グループホーム

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 9 月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |            |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 45   | 入浴時のプライバシーの配慮に欠ける点があり日常の中で扉をあけたらしめるといった羞恥心に対する配慮が鈍化している。                                  | 入浴場が通路に面しているので人が通るからではなく常に扉を閉める習慣をつけ意識せずともモラルの範囲でプライバシーが保たれる意識を醸成していく。 | 外部評価後の申し送りで現状を伝えまずはきずきとして意識してもらいGH会議にてセルフチェック行う。日々のケアではプライバシーに配慮する場面はお互いに声をかけあい行っていく。 | 3ヶ月        |
| 2        | 54   | 心地よい居室空間づくりにおいて換気をおこなっているが居室内の窓と扉を常時あけていることから第三者の目にはプライバシーに配慮されていないという見方もありこれも考え方が鈍化している。 | 扉をノックしてから入れる環境づくりと安易に～だからと固定観念化せず様々な視点で物事をとらえられる体制づくり。                 | 会議や日々の中で意見や提案があった時には職員の視点、利用者本人の視点、家族の視点で考えこれはどうなんだろうと考えることによってより利用者様本意に近づけるようにしていく。  | 6ヶ月        |
| 3        |      |   |  |   | ヶ月         |
| 4        |      |   |  |   | ヶ月         |
| 5        |      |   |  |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。